

2026 年度

第 6 学年 授業計画表

[シラバス]



鶴見大学歯学部

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第 6 学年	必 修	前期	2 単位

一般目標

診療参加型臨床実習を通して基本的な診察・臨床技能について自験を通じて習得した後、その知識や技能を振り返り、歯科医師として必要な専門知識に基づき主体的に課題解決能力を身に付ける。

【DP/CP】 DP 3 / CP 1

評価方法

授業の出席状況、受講態度を考慮した上で、客観試験の結果をもとに総合的に評価する。

評価基準

出席状況、受講態度、客観試験の結果をもとに総合評価として基準を満たしたものを合格とする。

臨床実習 2

【授業日程】

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	病理①	松本直行	1 病因論 2 代謝障害 3 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 4 修復と再生 5 循環障害	1A 内因 1B 外因 2A ビタミン欠乏症 3A 退行性病変 4A 進行性病変 4B 肉芽組織、器質化、創傷治癒、再生 5A 循環障害	1Aa 一般的素因 1Ab 個人的素因 1Ba 栄養性外因 1Bb 物理的外因 1Bc 化学的外因 1Bd 病原性微生物 2Aa 脂溶性ビタミン欠乏 2Ab 水溶性ビタミン欠乏 3Aa 変性 3Ab 萎縮 3Ac 壊死 3Ad アポトーシス 4Aa 肥大 4Ab 過形成 4Ac 化生 4B 治癒の分類と過程 5Aa 充血 5Ab うっ血 5Ac 虚血 5Ad 浮腫(水腫) 5Ae 出血 5Af 血栓 5Ag 塞栓 5Ah 梗塞 5Ai ショック	1A① 内因を説明できる。 1B① 外因を説明できる。 2A① ビタミン欠乏の種類と症状を列挙できる。 3A① 細胞傷害と組織傷害を説明できる。 3A② 変性と関連疾患の病態を説明できる。 3A③ 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 3A④ 萎縮と仮性肥大を説明できる。 4A① 肥大と過形成を説明できる。 4A② 化生を説明できる。 4B① 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4B② 創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 4B③ 器質化を説明できる。 5A① 虚血、充血、うっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 5A② 出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 5A③ 血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5A④ 梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5A⑤ 浮腫の原因と転帰を説明できる。 5A⑥ ショックの成因と種類を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-1)①② C-5-2)①～④ C-5-3)①～⑤ C-5-4)①～⑥ C-5-7)① E-2-4)-(2)① E-2-4)-(10)⑧⑨ E-6① F-1-1)⑦必-6-ア-a～c, h 必-6-イ-h 必-7-ア-a 必-7-ウ-b 必-7-ウ-c 総III-1-イ-a, b 総III-1-ウ-a～c 総III-1-エ-a～d 総III-1-オ-a, b 総III-2-ア-a 総IV-1-ア 総IV-1-ウ 各I-1-エ-a, b 各III-4-オ-f 各III-4-カ-j, k 各III-4-キ-a, b
2	病理②	松本直行	1 血液疾患	1A 貧血 1B 出血性素因	1Aa 鉄欠乏性貧血 1Ab 溶血性貧血 1Ac 再生不良性貧血 1Ad 巨赤芽球性貧血 1Ba 壊血病 1Bb IgA血管炎<アレルギー性紫斑病> 1Bc Osler病 1Bd 血小板無力症 1Be 特発性血小板減少性紫斑病 1Bf 白血病 1Bg von Willebrand病 1Bh 血友病 1Bi 播種性血管内凝固症候群<DIC>	1① 血液疾患(貧血、出血性素因)を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-4)② E-2-4)-(10)①③⑧⑨ E-6① F-1-1)⑦必-6-ア-h 必-7-イ-a 必-7-ウ-a～c 総III-1-オ-a 総III-1-ク-a～c 総III-2-ア-g 総IV-1-ア 総IV-1-オ 各III-1-ク-r 各III-4-エ-b 各III-4-オ-e, f 各III-4-カ-k 各III-4-キ-b 各III-4-ク-a 各III-4-ケ-a 各III-4-コ-a～f
3	口外①	佐藤光一郎	手術の基本	手術の基本	b 消毒と滅菌 c 切開法 d 止血法、縫合法 e 穿刺、切開排膿、ドレナージ g 移植・再建手術 h 創傷の治療	口腔外科の手術手技を行う際に必要な術野の消毒・滅菌の概念および器具や歯科材料の概念およびその治療における使用方法について理解できる。周術期の管理についても理解を深める。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-1-5)①～⑩ 必修12ウb 必修12エa-d 必修12キa-c 必修12クa 必修12トj 総VII47 a-h 総VII9ア-コ 総VIII11ア-エ
4	口外②	佐藤光一郎	先天異常	口腔・顎顔面の先天異常 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	a 顔面裂 b 口唇裂・口蓋裂 a Apert症候群<尖頭合指症> b Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群> c Crouzon症候群<頭蓋顔面異骨症> d Down症候群 e Gardner症候群 f Marfan症候群 g McCune-Albright症候群<多骨性線維性{骨}異形成症> h Melkersson-Rosenthal症候群 i Peutz-Jeghers症候群 j Ramsay Hunt症候群<Hunt症候群> k Robin シークエンス<PierreRobin症候群> l Sturge-Weber症候群 m Treacher Collins症候群<下顎顔面異骨症> n von Recklinghausen病<神経線維腫症I型> o 基底細胞母斑症候群 p 口腔・顔面・指趾症候群<OFD症候群> q 骨形成不全症 r 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異骨症> s 第一第二鰓弓症候群 Goldenhar症候群を含む t 大理石骨病	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(10)⑤ 各論I01ア-エ 各論I02ア-ウ 各論III17 a 各論III47 a-t

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
5	SDL①	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。
6	部分床①	白井麻衣	I 可撤性部分床義歯の概念 1. 定義 2. 目的 3. 臨床的意義 4. 分類	A. 欠損による障害 B. 臨床的意義 C. 特徴 D. 分類		①可撤性部分床義歯の定義と特徴を説明する。 ②治療効果と臨床的意義を説明する。 ③固定性義歯およびインプラント義歯との相違を説明する。 ④各部構成要素を説明する。 ⑤各種の分類を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版1,2,3,4,5章 「復習」 E-3-4)-(2)①～③ 各論IV 1ア～オ、各論IV 4アb
7	部分床②	白井麻衣	5. 構成要素 6. 可撤性支台装置	E. クラスプ F. アタッチメント		⑥可撤性支台装置の構造、機能を説明する。 ⑦所要条件と設計の基本を説明する。 ⑧分類と基本的機能の関係を説明する。 ⑨クラスプ用材料を説明する。 ⑩アタッチメントの構造と機能を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート第2版6,7章 「復習」 E-3-4)-(2)④ 各論IV 4アb
8	微生物①	大島朋子	感 染	A. 総 論 B. 感染の概念 C. 感染成立に関わる因子	微生物の分類と構造 感染と発症 感染経路 宿主の感受性 寄生体の病原性 病原微生物	①微生物の基本的事項を説明する。 ②感染と発症の違いを説明する。 ③(感染成立に関わる)宿主側の因子を説明する。 ④感染経路を説明する。 ⑤寄生体の病原性を説明する。 ⑥病原微生物と常在微生物を説明する。	「予習」 manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 「復習」 アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C 4-1) ①～⑤ 国家試験出題基準: 必修4 イab、必修6 アe、必修9 エe、必修11スb、必修12ア、総論15アc、総論17アab、総論12アab、総論11キab、総論V 6アi、総論VI 3アe、総論VII 1 Ek、各論V 2 km
9	微生物②	大島朋子	感 染	D. 感染の種類	日和見感染 院内感染 菌交代症 菌血症・敗血症 病巣感染 食中毒(毒素型、感染型) 新興・再興感染症	⑦感染の種類を説明する。 ⑧食中毒の種類を説明する。 ⑨新興・再興感染症を説明する。	「予習」 manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 「復習」 アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C 4-1) ①～⑤ 国家試験出題基準: 必修4 イab、必修6 アe、必修9 エe、必修11スb、必修12ア、総論15アc、総論17アab、総論12アab、総論11キab、総論V 6アi、総論VI 3アe、総論VII 1 Ek、各論V 2 km
10	SDL②	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。
11	口内①	上野繭美	総論 精神疾患	精神疾患の概念	精神疾患 認知症 統合失調症 うつ病	精神疾患と歯科治療時の対応を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: E-5-3)-①～⑥ 国試出題基準: 必-6-イ-r 総-V-6-ア-f 総-VII-1-エ-g 各III-4-シ-a～f
12	口内②	上野繭美	各論 精神疾患の病態・診断・治療	口腔領域に関連して現れる精神・心身医学的病態	a 気分(感情)障害 b 不安障害 c 重度ストレス反応および適応障害 d 身体表現性障害(身体症状症) e 心身症 f 歯科心身症	うつ病、双極性障害、パニック障害、心的外傷後ストレス関連障害(PTSD)、適応障害、不安障害、身体表現性障害、心身症、口腔灼熱症候群(burning mouth syndrome)、口腔セネストパチー、咬合違和感症候群、歯科恐怖症を説明できる。 一般心理療法、カウンセリング、自律訓練法、行動療法、認知行動療法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ: E-5-3)-①～⑥ 国試出題基準: 必-6-イ-r 総-V-6-ア-f 総-VII-1-エ-g 各III-4-シ-a～f
13	全部床①	大久保力廣	(総論) 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態	歯の喪失に伴う変化・障害	口腔の変化 顎骨の変化 顔貌の変化 顎関節の変化 全身への影響	①無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ②歯の喪失に伴う口腔・顎顔面領域の変化・障害を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯補綴学講義ノート1,2,9章 E- 2-2) -① E- 2-3) -④ E- 3-4) - (2) -① 必12-ス-a 総III- 2-イ-abcde 各IV- 8-エ-bcd
14	全部床②	大久保力廣	(総論) 口腔検査、顎口腔機能検査(各論) 診察、検査、診断	顎口腔機能検査	咀嚼機能検査(直接法・間接法) 発声・構音・発語検査 鼻咽腔閉鎖機能検査 機能的・力学的評価	①無歯顎の解剖学的構造を説明できる。 ②無歯顎の口腔内検査を説明できる。 ③咀嚼機能検査を説明できる。 ④発声・構音・発語検査を説明できる。 ⑤鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯補綴学講義ノート1,2,3,28章 E- 1-1) -①② E- 2-2) -⑧ E- 2-4) - (11) -①②③ 必12-ス-a 総VI- 1-アイウ 総VI- 1-イ-abc 各IV- 2-イ-abcdfgi

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
15	SDL③	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。
16	衛生①	後藤田宏也	予防と健康管理・増進およびライフステージ別にみた保健・福祉①	A 母子保健、母子歯科保健と児童福祉	A a 現状、動向 A b 母性保健 A c 母子歯科保健の意義 A d 妊産婦の歯科保健 A e 乳幼児の歯科保健と健康診査 A f 児童福祉制度 A g 児童虐待への対応	① 母子保健法に基づく事業を説明できる。 ② 1歳6か月歯科健康診査を説明できる。 ③ 3歳児歯科健康診査を説明できる。 ④ 母子健康手帳を説明できる。 ⑤ 健やか親子21(第2次)を説明できる。 ⑥ 児童福祉法を説明できる。 ⑦ 児童虐待防止法を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説(manabaにて提示: Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の変更問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む)。【コアカリキュラム】 A-7-1)③、B-2-1)⑤、B-2-2)⑥、B-3-2)④、 【国家試験出題基準】 必3イb,総I2アabcdefg、
17	衛生②	後藤田宏也	予防と健康管理・増進およびライフステージ別にみた保健・福祉②	A 学校保健、学校歯科保健と学校安全	A a 現状、動向 A b 学校保健の領域・内容 A c 学校保健関係者 A d 学校歯科保健教育 A e 学校歯科保健管理 A f 組織活動 A g 学校安全対策	① 学校保健の構造を説明できる。 ② 学校における健康診断を説明できる。 ③ 学校における健康診断の事後処置を説明できる。 ④ 学校保健の状況を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説(manabaにて提示: Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の変更問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む)。 【コアカリキュラム】 A-7-1)③、B-3-2)④ 【国家試験出題基準】 必3イc,総I2イabcdefg、
18	小児①	守安克也	1小児の成長発育 2頭蓋顎顔面の発育	1A 身体の発育 1B 身体発育の特徴 1C 小児の発達の特徴 1D 小児の生理的特徴 1E 口腔機能の発達 2A 頭蓋顎顔面の発育	1Aa 小児期の分類 1Ba 生理的年齢 1Bb 出生時および出生後の発育 1Bc 各器官の発育 1Ca 運動機能の発達 1Cb 言語の発達 1Cc 情動の発達 1Da 原始反射 1Db 生理的特徴 2Aa 脳頭蓋の発育 2Ab 顎・顔面の発育	1Aa① 小児期の分類を列挙する。 1Ba① 生理的年齢を説明する。 1Bb① 小児の身体発育を説明する。 1Bc① 各器官の発育の特徴を説明する。 1Ca① 小児の運動機能の発達について説明する。 1Cb① 小児の言語の発達過程を説明する。 1Cc① 小児の精神的発達の特徴を説明する。 1Da① 代表的な原始反射について説明する。 1Db① 小児の生理的特徴を説明する。 2A① 脳頭蓋顎顔面の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 C-3-2)①,③,④ E-2-3)②,③ 必5イa,b,c 必5ウb 総II7アa,b,c 総II7ウa,b 総II8エa
19	小児②	守安克也	1歯の発育と異常 2歯列・咬合の発育と異常	1A 歯の発育 1B 歯の萌出 2A 歯列・咬合の発育	1Aa 歯の形成 1Ba 歯の発育段階 1Bb 歯の萌出 1Bc 吸収と脱落 2Aa 無歯期 2Ab 乳歯列期 2Ac 第一大臼歯・切歯萌出期 2Ad 側方歯萌出期 2Ae 第二大臼歯萌出開始期 2Af 乳歯列期から永久歯列期への咬合変化	1Aa① 正常な歯の形成過程を説明する。 1Bb① 正常な歯の萌出時期を述べる。 1Bc① 歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。 2A① 正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 2A② 咬合発育段階とその特徴について述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて、理解度を確認して復習すること。 E-3-1)③ 必5ウa 総II5アa,b,c,d 総II8イa,b,c,d 総II8エb
20	SDL④	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。
21	麻酔①	阿部佳子	医学史 歯科麻酔学の基礎	麻酔の歴史 歯科麻酔学の基礎知識	歴史・適応 自律神経系 呼吸・循環系 酸塩基平衡 内分泌系	① 麻酔に関する歴史を知る ② 周術期全身管理に必要な自律神経系の知識を理解する ③ 周術期全身管理に必要な呼吸・循環系の知識を理解する ④ 周術期全身管理に必要な酸塩基平衡の知識を理解する ⑤ 周術期全身管理に必要な内分泌系の知識を理解する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必13ア/必5アe 総II1カbkdクab 総V6アah C-3-4)-(4)①② C-3-4)-(5)①-③ C-3-4)-(8)①② C-3-4)-(9)②
22	麻酔②	阿部佳子	全身状態評価 術前管理 臨床検査	術前・術後管理の基本 全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理 臨床検査	術前全身評価 術前検査 ASA PS分類 その他の分類	① 全身状態の術前評価を説明する ② 基本的な術前検査を説明する ③ ASA PS分類を説明する ④ その他の全身状態評価分類を説明する ⑤ 術前・術後管理の基本を説明する ⑥ 全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10ウエ/必9エオ/必12スb 総V6a-h 総VI3アa-c, 4アab 総VII1エb-l, 4イbd 各III4スa-l E-1-3)①-⑤ E-1-4)①⑥ E-6)①-③

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
23	CrBr①	重田優子	<p>総論 診察、検査、診断総論</p> <p>総論 口腔検査、顎口腔機能検査</p> <p>各論 診察、検査、診断</p>	<p>検査と評価</p> <p>口腔検査 顎口腔機能検査</p> <p>診察 検査と評価 診断</p>	<p>補綴装置の評価</p> <p>歯列・咬合の検査 下顎運動検査 顎関節・筋機能検査</p> <p>形態的評価・審美的評価 機能的評価 力学的評価 身体社会的・心理的評価 栄養評価 研究用模型による検査 口腔衛生状態の評価</p>	<p>E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備すべき条件を説明できる</p> <p>E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。</p> <p>E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。</p>	<p>「予習」 Answer2026 P130-141 「復習」 Answer2026 P130-141 各論IV2イf E-3-4)-(1)-① 「予習」 Answer2026 P3-63, P130-141, P142-157 「復習」 Answer2026 P3-63, P130-141, P142-157 総論VI1アe, イab 各論IV2ア, イabcdegh, ウ, エ E-1-3)-①②⑦</p>
24	CrBr②	重田優子	<p>各論 クラウンブリッジによる治療</p> <p>各論 クラウンブリッジによる治療</p>	<p>臨床操作</p> <p>臨床操作</p>	<p>プロビジョナルレストレーション</p> <p>顎間関係の記録 患者情報の記録と伝達 前処置</p>	<p>E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作方法を説明できる。</p> <p>E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。</p>	<p>「予習」 Answer2026 P214-235, P271-286 「復習」 Answer2026 P214-235, P271-286 必修12セc 各論IV3イde D-2-② E-3-4)-(1)⑤⑦ 「予習」 Answer2026 P236-270 「復習」 Answer2026 P236-270 各論IV 3イfg E-3-4)-(1)-⑤⑩ 「予習」 Answer2026 P142-157, P192-213 「復習」 Answer2026 P142-157, P192-213 各論IV3イab E-3-4)-(1)③④</p>
25	SDL⑤	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめ反復学習すること。
26	歯内①	山崎泰志	<p>1. 歯内疾患の病因</p> <p>2. 歯と歯周組織の構造と機能</p>	<p>1. 硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周炎の概念</p> <p>2A 歯の正常構造</p> <p>2B 歯・歯髄の形態の異常</p> <p>2C 加齢による形態的变化</p>	<p>1.硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周炎</p> <p>2A歯の硬組織、歯髄(象牙質・歯髄複合体)、歯周組織の構造と機能</p> <p>2B 歯根、歯髄腔の形態(異常と変化)</p> <p>2C 老化による歯髄の退行変性を含む</p>	<p>① 歯内療法目的と意義を説明できる。</p> <p>② 歯の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖性歯周炎の原因、治療を説明できる。</p> <p>③ 正常な歯と歯周組織の構造と機能を説明できる。</p> <p>④ 歯、歯根、歯髄腔の異常形態と好発部位を説明できる。</p> <p>⑤ 老化による形態変化、歯髄の退行変性について説明できる。</p>	<p>予習:教科書を読み、講義に備えること。</p> <p>復習:正常な歯・歯周組織の構造と機能、歯の異常形態と好発部位を列挙できる。歯髄の退行変性を列挙できる。配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。E-3-1)②③④⑤、E-3-2)①②⑤、E-3-3)-(2)⑦、C-3-3)②、必6イa,b,h、必9オa,b、必9カd,e、総II5アa,c,d、総II5イa,b、総II8イb、総III2アa,b、各I2アa、2イa,b,c,d,e,f,g,h、2ウb,c、各V3イb</p>
27	歯内②	山崎泰志	診察の基本 歯の硬組織疾患	<p>歯・歯周組織の診察、検査</p> <p>歯の硬組織疾患の病因と病態</p>	<p>①硬組織、歯髄、根管の検査</p> <p>②象牙質知覚過敏症</p>	<p>①歯の検査法について説明できる。</p> <p>②象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断、治療法を説明できる。</p> <p>③歯痛の機序を説明できる。</p>	<p>予習:教科書を読み、講義に備えること。</p> <p>復習:歯の検査法、象牙質知覚過敏症の治療法と薬剤を列挙できる。象牙質の痛みについてを説明できる。配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。</p> <p>D-1①③、D-2⑥、E-1-1)①②③④⑥、E-1-2)⑦⑨、E-3-1)②③④⑤、E-3-2)①⑤、E-3-3)-(1)① 必7イabc、必8イa、キa,b,c、必9アa、イa、オa,b、カd,e、総II6アc、総VI1アa,b、2エオコ、各II1アd、</p>
28	解剖①	黒田範行	生命の分子基盤	細胞の構造と機能	細胞内小器官	細胞内小器官の名称と機能を理解する	<p>予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-2-3)-12、 C-2-4)-1、4-A-b,c</p>
29	解剖②	黒田範行	人体の正常構造と機能	人体の構造	器官形成	咽頭弓の形成、その派生物を説明する。	<p>予習:講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。復習:配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。</p> <p>C-3-2)-1,2、5-A-a</p>
30	SDL⑥	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめ反復学習すること。

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
31	薬理①	二藤 彰	1 薬理学総論	1A 薬物療法の目的 1B 薬物適用とその特徴	1Aa 病因療法 1Ab 対症療法 1Ac 補充療法 1Ad 予防療法 1Ba 経口適用 1Bb 注射 1Bc 動・静脈内適用 1Bd 吸入 1Be 舌下部適用 1Bf 直腸内適用 1Bg 局所適用	1A① 病因療法、対症療法、補充療法、予防療法とそれらの具体例を述べる。 1B① 薬物の適用方法の種類を説明する。 1B② 適用方法それぞれの長所ならびに短所を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-2)-①, ② C-6-3)-① 必11-オ-a~d 総VII-8-ア-a 総VII-8-イ-a
32	薬理②	二藤 彰	1 薬理学総論	1C 薬物動態 1D 薬効に影響を及ぼす身体的特徴 1E 用量 1F 薬物の耐性、依存	1Ca 吸収 1Cb 分布 1Cc 代謝 1Cd 排泄 1Da 小児、妊婦、高齢者への投薬、服薬指導 1Ea 有効量、治療量 1Eb 中毒量 1Ec 致死量 1Ed 50%有効量 1Ee 50%致死量 1Fa 耐性と依存 1Fb 依存性薬物	1C① 薬物の吸収に影響する因子を説明する。 1C② 薬物の分布に影響する因子を説明する。 1C③ 薬物の代謝と排泄について説明する。 1C④ 生物学的半減期、生体利用率の意味を説明する。 1D① 薬物の適用方法の種類を説明する。 1E① 薬物の用量と反応について説明する。 1F① 薬物の耐性、依存について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の復習を行う。 C-6-3)-② C-6-2)-③, ④ 必11-コ-a~c 総V-4-エ 総V-6-エ 総VII-8-ア-a~c 総VII-8-イ-b~e 総VII-8-ウ-h 各V-4-ア-f
33	修復①	山本雄嗣 英将生 大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1A. 保存修復学概論	1Aa. 歯の構造 1Ab. 検査・診断	1Aa① エナメル質の構造を説明できる。 1Aa② 象牙質-歯髄複合体の構造を説明できる。 1Ab① 歯の硬組織疾患の検査法と診断を説明できる。	「第六版 保存修復学21」第1章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-1)④、E-3-3)-(1)①② 必7イb、必9オa、総VI1アa
34	修復②	山本雄嗣 英将生 大森かをる	1. 歯の硬組織疾患の治療	1B. 齲蝕、齲蝕以外の硬組織疾患	1Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因	1Ba① 齲蝕の病因と病態を説明できる。 1Ba② 齲蝕以外の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。	「第六版 保存修復学21」第2~3章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-2)①、E-3-3)-(1)① 必6イa、必7イb、総III2アb、総IV2ア、各II1アa~f
35	倫理	勝村聖子	1. 医の倫理	1A. 歴史 1B. 規範 1C. 患者の権利 1D. インフォームドコンセント	1Ba. 医の倫理に関する規範 1Bb. 専門職としての倫理 1Ca. 患者の権利	1Ba① 医の倫理に関する倫理規範を説明する 1Bb① 医療の専門職としての倫理を説明する 1Ca① 医療における患者の権利を説明する	予定されている講義内容を1,3年次の講義資料で予習し、講義後は資料を参照に復習すること。 A-1-1)①~⑥、A-1-2)①~④、A-4-2)⑥⑦、C-5-7)① 必1-ア-a,b、必1-イ-a,b、必2-ウ-a,b、
36	生化①	山越康雄 山本竜司	1 生体成分	1A タンパク質 1B 糖質 1C 脂質	1Aa アミノ酸 1Ab ペプチドとタンパク質 1Ba 単糖、オリゴ糖、多糖 1Bb 単糖誘導体 1Ca 脂肪酸 1Cb 中性脂肪 1Cc リン脂質 1Cd コレステロール	1Aa① アミノ酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Ab① ペプチドとタンパク質の構造と機能を説明する。 1Ba① 単糖、オリゴ糖、多糖の種類と構造の特徴を説明する。 1Bb① 糖アルコール、ヘキソサミン、ウロン酸を説明する。 1Ca① 脂肪酸の種類と構造の特徴を説明する。 1Cb① 中性脂肪の構造と機能を説明する。 1Cc① リン脂質のと構造と機能の特徴を説明する。 1Cc② 細胞膜の構造を説明する。 1Cd① コレステロールの構造と誘導物質を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アa,c,f コアカリ：C-2-1)-①~⑤

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
37	生化②	山越康雄 山本竜司	2代謝	2A 代謝概要 2B 糖質代謝 2C 脂質代謝 2D アミノ酸代謝	2Aa 異化と同化 2Ab 酵素 2Ba 糖質の消化・吸収 2Bb 糖質のエネルギー産生 2Bc 糖質の運搬 2Ca グルコース産生 2Ca 脂質の消化・吸収 2Cb 脂質の運搬 2Cc 脂質のエネルギー産生 2Cd ケトン体生成 2Da タンパク質の消化・吸収 2Db アミノ酸の利用	2Aa① 異化と同化を説明する。 2Aa② ATPの構造とエネルギー通貨を説明する。 2Ab① 酵素の種類と性質を説明する。 2Ba① 糖質の消化・吸収機構を説明する。 2Bb① 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化的リン酸化を説明する。 2Bc① 糖新生を説明する。 2Ca① 脂質の消化・吸収機構を説明する。 2Cb① 脂質の運搬を説明する。 2Cc① β酸化を説明する。 2Cd① ケトン体の種類と生成機構を説明する。 2Da① タンパク質の消化・吸収機構を説明する。 2Db① アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応を説明する。 2Db② 糖原性およびケト原性アミノ酸を説明する。 2Db③ 尿素回路を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必5アa,c,e,f、総II1オa,b、総II1コa,b コアカリ：C-2-1)-①～⑤、C-2-3)-①
38	生理①	本谷安正	生理学全般 A.細胞、血液・体液 B.神経系 C.内分泌系 D.循環・呼吸 E.感覚 F.消化機能・排泄系 G.口腔機能 H.加齢の生理学	生理学全般	生理学全般	現時点での国家試験に向けた学力水準を把握することを目標とする。	予習復習範囲： スタディー生理学の全範囲 コアカリ C-2-1), 3), 4) C-3-4(-1) (3)~(10) E-1-3)-3 E-2-2)-568-10 E-2-3)-2 E-5-1)-13 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e 必6-エ-a~c必10-エ-a 必10-オ-c~g <総論> 総II-1-ア~ク 総II-6-ア~オ 総II-8-ウ,エ 総III-1-ケ-a, b 総IV-1-キ,ク 総VI-1-ア,イ 総VI-4-ア,イ 総VI-5-ア-b
39	生理②	大貫芳樹	A.細胞	A.細胞の構造と機能 B.血液・体液	Aa.細胞膜 Ab.膜タンパク Ac.細胞小器官 Ba.血液 Bb.体液	A①細胞膜について説明する。 A②膜タンパクの機能について説明する。 A③細胞小器官の働きについて説明する。 B①血球の生成と処理について説明する。 B②血液の働きについて説明する。 B③細胞外液と内液について説明する。 B④体液の移動と脱水、浮腫について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲:p 2-32。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-3)-1~4 C-2-4)-1~3 C-3-4(-4)-1~7 C-3-4(-10)-1~3 出題基準 <必修> 必5-ア-a~e <総論> 総II-1-ウ-a,b 総II-1-オ-a 総II-1-カ-a,b
40	SDL⑦	1~4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて復習学習すること。
41	歯周①	長野 孝俊	1.歯周病の病因	1. 病因関連因子 2. 宿主因子 3. 環境関連因子	1. 歯周病原細菌 2 a. 局所性修飾因子 2 b. 全身性修飾因子 3 a. 喫煙 3 b. 常用薬物	1 ①. 歯周病原菌を列挙しその特徴を説明できる。 2 a①. 局所性修飾因子を列挙し説明できる。 2 a②. 外傷性修飾因子を列挙し説明できる。 2 b①. 全身疾患と歯周病との関係を説明できる。 3 a①. 喫煙が歯周病に与える影響について説明できる。 3 b①. 薬物性歯肉増殖症について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配布資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①必7イc 必7イd 必7ウc,d,h 必9オb 総II5イb 総IV2イ 総VII2アc 各Iイc,j 各Iエa 各II3アb,d,f,h 各II3イd,e 各III4オa 各III4カi
42	歯周②	長野 孝俊	1.検査	1.検査	1 a. 歯周ポケット検査 1 b. アタッチメントレベル 1 c. 歯の動揺度検査 1 d. 歯周病の画像検査 1 e. 付着歯肉幅の検査 1 f. 模型による検査	1 a①. 歯周ポケット検査を説明できる。 1 b①. アタッチメントレベル測定法を説明できる。 1 c①. 動揺度の検査を説明できる。 1 d①. 歯周病の画像検査を説明できる。 1 e①. 模型による検査を説明できる。 1 f①. 付着歯肉幅の必要性和検査法を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配布資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①②③④ 必10オb 総II5イb 総VI1アc 各II3アa 各II3アb

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
43	小児③	守安克也	1小児の成長発育 2頭蓋顎顔面の発育	1A身体の発育 1B身体発育の特徴 1C小児の発達の特徴 1D小児の生理的特徴 1E口腔機能の発達 2A頭蓋顎顔面の発育	1Aa小児期の分類 1Ba生理的年齢 1Bb出生時および出生後の発育 1Bc各器官の発育 1Ca運動機能の発達 1Cb言語の発達 1Cc情動の発達 1Da原始反射 1Db生理的特徴 2Aa脳頭蓋の発育 2Ab顎・顔面の発育	1Aa①小児期の分類を列挙する。 1Ba①生理的年齢を説明する。 1Bb①小児の身体発育を説明する。 1Bc①各器官の発育の特徴を説明する。 1Ca①小児の運動機能の発達について説明する。 1Cb①小児の言語の発達過程を説明する。 1Cc①小児の精神的発達の特徴を説明する。 1Da①代表的な原始反射について説明する。 1Db①小児の生理的特徴を説明する。 2A①脳頭蓋顎顔面の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 C-3-2)①,③,④ E-2-3)②,③ 必5イa,b,c 必5ウb 総117アa,b,c 総117イa,b,c 総117ウa,b 総118エa
44	小児④	守安克也	1歯の発育と異常 2歯列・咬合の発育と異常	1A歯の発育 1B歯の萌出 2A歯列・咬合の発育	1Aa歯の形成 1Ba歯の発育段階 1Bb歯の萌出 1Bc吸収と脱落 2Aa無歯期 2Ab乳歯列期 2Ac第一大臼歯・切歯萌出期 2Ad側方歯萌出期 2Ae第二大臼歯萌出開始期 2Af乳歯列期から永久歯列期への咬合変化	1Aa①正常な歯の形成過程を説明する。 1Bb①正常な歯の萌出時期を述べる。 1Bc①歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。 2A①正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 2A②咬合発育段階とその特徴について述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて、理解度を確認して復習すること。 E-3-1)③ 必5ウa 総115アa,b,c,d 総118イa,b,c,d 総118エb
45	SDL⑧	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名: Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめ反復学習すること。
46	高齢者①	櫻井敏継	1. 加齢に伴う変化 2. コモンディージーズ1	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる基礎疾患 3) 歯科診療に配慮が必要な基礎疾患	a. 加齢に伴う循環器、呼吸器、消化器などの変化 b. 老年症候群	① 加齢に伴う変化を説明する。 ② 高齢者によく見られる基礎疾患を説明する。	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 A-6-1)③④ 必6エ C-3-3)①②③ 総118エ E-1-4)-(1)⑥ 必6エ,総12オ E-2-3)④ 総118エ,各V2アイ E-5-1)①② 必6エ,総12オ
47	高齢者②	櫻井敏継	1. 加齢に伴う変化 2. コモンディージーズ1	1) 加齢に伴う各臓器の変化 2) 高齢者にみられる基礎疾患 3) 歯科診療に配慮が必要な基礎疾患	a. 加齢に伴う循環器、呼吸器、消化器などの変化 b. 老年症候群	① 加齢に伴う変化を説明する。 ② 高齢者によく見られる基礎疾患を説明する。	【予習 復習】 範囲の参考書を確認しておくこと。 A-6-1)③④ 必6エ C-3-3)①②③ 総118エ E-1-4)-(1)⑥ 必6エ,総12オ E-2-3)④ 総118エ,各V2アイ E-5-1)①② 必6エ,総12オ
48	衛生③	後藤田宏也	予防と健康管理・増進およびライフステージ別にみた保健・福祉③	A産業保健、産業歯科保健	A a 現状、動向 A b 労働衛生の3管理 A c 作業関連疾患、職業性歯科疾患 A d 健康診断、事後措置 A e 産業歯科保健の意義 A f 産業歯科保健活動 A g 職場での健康増進対策	①労働衛生管理体制について説明できる。 ②労働衛生の3管理について説明できる。 ③産業保健における健康診断について説明できる。 ④健康増進計画について説明できる。 ⑤トータルヘルスプロモーションプラン(THP)とメンタルヘルス対策について説明できる。 ⑥労働安全衛生法に基づく事業を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説(manabaにて提示: Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の変更問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む)。 【コアカリキュラム】 A-7-1)③、B-3-2)④ 【国家試験出題基準】 必3イd,総12ウabcdefg
49	衛生④	後藤田宏也	予防と健康管理・増進およびライフステージ別にみた保健・福祉④	A成人保健、成人歯科保健 B高齢者保健、高齢者歯科保健 C障害児・障害者の保健・福祉 D地域の保健・医療	A a 現状、動向 A b 特定健康診査、特定保健指導 A c 健康増進法に基づく保健事業 A d成人歯科保健活動 B a 現状、動向 B b 高齢者の特性 B c 高齢者歯科保健・高齢者の口腔管理 C a 現状、動向 C b 障害児・障害者の健康保持・増進 C c 障害の種類と支援 C d 自立支援と福祉の制度 C e 障害児・障害者の歯科保健医療 Da地域保健活動の進め方 Db地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割	①成人保健、成人歯科保健の現状、動向を説明できる。 ②特定健康診査、特定保健指導を説明できる。 ③高齢者保健、高齢者歯科保健の現状、動向を説明できる。 ④高齢者歯科保健・高齢者の口腔管理を説明できる。 ⑤障害児・障害者の保健・福祉の現状、動向を説明できる。 ⑥自立支援と福祉の制度を説明できる。 ⑦地域保健法、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律を説明できる。 ⑧地域保健における都道府県、市町村、保健所の役割を説明できる。	【予習】講義範囲の歯科医師国家試験問題の主に過去20年間分の問題と解説(manabaにて提示: Answer問題集などのページの指定とアップロードした資料を参考)および指定教科書にて予習すること。 【復習】講義のプリントと提示した国家試験問題の変更問題と演習問題(オリジナル問題と予想問題等)の理解と応用に努めること。また随時理解度と習熟度の向上のためにプレテストとポストテストを実施する(課題も含む)。 【コアカリキュラム】 A-7-1)②、A-7-1)③、B-3-2)④ 【国家試験出題基準】 必3イa,e~h,総11オaef,総12エabc,総12オabcd,総12カabcde、総15アabcd

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
50	スポーツ 歯科	栗原大介	1. スポーツ歯学	1 A. スポーツ歯科医学について 1 B. スポーツデンティストについて 1 C. 医科学サポートにおける 歯科の役割 1 D. 口腔顎顔面領域のスポーツ 障害への安全対策 1 E. マウスガード	1 A a. スポーツ歯学の定義と目的 1 A b. スポーツ歯学の歴史 1 B a. スポーツデンティストの役割について 1 C a. 医科学サポートについて 1 C b. ドーピングコントロールについて 1 D a. 顎口腔領域への障害について 1 E a. 目的と意義 1 E b. 種類と特徴 1 E c. 材料と特性 1 E d. サーマフォーミングの特性 1 E e. 使用上の注意とメンテナンス	1 A a④スポーツ歯学の定義と目的を説明する. 1 A b②スポーツ歯学の歴史を説明する. 1 B①スポーツデンティストの役割について説明する. 1 C a④医科学サポートについて説明する. 1 C b④ドーピングコントロールについて説明する。(禁止薬物を含む) 1 D a④顎口腔領域への障害について説明する. 1 E a④目的と意義について説明する. 1 E b④種類と特徴について説明する. 1 E c④材料と特性について説明する. 1 E d④サーマフォーミングの特性について説明する. 1 E e④使用上の注意とメンテナンスについて説明する.	予習：シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書とANSWER2025-7巻P386-393で復習する。 E-2-4)-(2)③, E-4-2)⑦, D-1①各論I-4オ, 各論III-5イd
51	理工①	野本理恵	生体材料の科学	材料の素材 材料の物性 A. 物理的性質 B. 機械的性質 C. 化学的性質 D. 生物学的性質と生体安全性	有機材料、高分子材料、無機材料、セラミック材料、金属材料、複合材料 密度、熱膨張係数、熱伝導率、比熱 応力、ひずみ、弾性係数、強さ、耐力、降伏点、レジリエンス、靱性、展延性、硬さ、耐摩耗性、疲労、衝撃強さ、クリープ 吸水、溶解、腐食 生体親和性、毒性、アレルギー	①有機材料、無機材料、高分子材料、セラミック材料、金属材料、複合材料の特徴を説明する。 ②応力-ひずみ線図を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 D-1-② 必11セa 総VIII 1
52	理工②	野本理恵	印象材	非弾性印象材 弾性印象材 A. ハイドロコロイド印象材 B. 合成ゴム系印象材 印象材の性質	石膏、インプレッションコンパウンド、ワックス、酸化亜鉛ユージノール印象材 寒天印象材、アルジネート印象材 付加型シリコーンゴム印象材、縮合型シリコーンゴム印象材、ポリサルファイドゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材 細部再現性、弾性ひずみと永久ひずみ、応力緩和	①各種印象材の組成、硬化機構および特徴を説明する。 ②弾性ひずみと永久ひずみについて説明する。 ③寸法安定性について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。 復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。 E-3-4)-(1)-⑤, E-3-4)-(2)-⑥ 必11セc 総VIII 3 (オ除く)
53	口外③	江口貴紀	悪性腫瘍	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	c 口唇癌 d 舌癌 e 頬粘膜癌 f 口蓋癌 g 歯肉癌 h 口底癌 i 上顎洞癌 j 軟組織の肉腫 k 白血病 l 悪性リンパ腫 m 悪性黒色腫 n 上皮異形成 o 腫瘍類似疾患	各種悪性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断について理解できる。 悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6)①～⑥ E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(6)③～⑥ E-2-4)-(10)④ 必修127b 各論III1f a-o 各論III1h a-c
54	口外④	江口貴紀	悪性腫瘍、がん患者の管理	がん治療患者の管理	a がんの告知 b 治療時の患者管理 口腔衛生管理、口腔ケア c 社会復帰 d 末期癌患者の管理 e 緩和医療	がん患者の管理や口腔ケア、緩和ケア、疼痛コントロールについて理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 A-5-1)①～⑦ 総VII57 a、b 総VII5イ、ウ 各論III1k a-e
55	SDL⑨	1～4限の講義 担当者	主体的課題克服学習 (英語名：Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめ反復学習すること。

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
56	法医①	勝村聖子	1. 死因究明	1A 死因究明 1B 解剖 1C 死の種類	1Aa 死因究明制度 1Ab 死因・身元調査法 1Ba 刑事訴訟法 1Bb 死体解剖保存法 1Ca 心臓死 1Cb 脳死	1A① 我が国の死因究明制度について説明する。 1B① 解剖の種類について説明する。 1C① 我が国における死の定義を説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-3)②、C-5-7)① 総1-3-ア-a,c
57	法医②	勝村聖子	1. 歯科法医学と個人識別	1A 死後変化 1B 身元確認 1C 個人識別における歯科の有効性	1Aa 死体現象 1Ba 年齢推定 1Bc 性別判定 1Ca 歯科所見	1A① 死後変化について説明する。 1B① 個人識別の重要性について説明する。 1C① 歯科所見による身元確認について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-3)①② 総1-3-ア-a,b,c
58	放射①	伊東宏和	エックス線画像	X線画像の原理 X線単純撮影	a 電離放射線 b 放射線の性質と作用 c X線撮影装置	・電離放射線が分類できる ・X線の性質が説明できる ・X線の発生が説明できる	既出問題での予習、復習 D-1 ①③、E-1-2) ①⑤ 必修9カd、総論VI2ア
59	放射②	伊東宏和	エックス線画像	X線画像の原理 画像 検査における医療情報	a コントラストと分解能 b 医療画像システム c 口内法X線検査 d 検出器、撮影補助器材	・X線画像形成の原理を説明できる ・画質への影響を説明できる ・デジタルシステムについて説明できる ・口内法X線検査が分類できる	既出問題での予習、復習。 E-1-2) ④⑤ 必修2サ、必須9カb d、総論VI2アイエ
60	SDL⑩	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名：Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。
61	矯正①	関谷利子	口腔・顎顔面の発生・成長発育	顎頭部の形成 頭部の成長発育 発育区分における成長・発達の評価	顎顔面頭蓋 年齢による成長評価法（暦年齢、生理的年齢） 歯列・咬合	①顎顔面頭蓋の成長発育のメカニズムを理解する。 ②歯・歯列弓の成長発育、咬合の推移を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-2-2-1、A-2-4-1～6、A-3-1-2-4、A-3-3-5、A-3-4-1 必5ウa,b、総117イb、総117ウa、総118アb、総118ウa、総118エa,c
62	矯正②	関谷利子	口腔機能の発達正常咬合・不正咬合	嚥下機能の発達 正常咬合の定義 不正咬合の種類と分類	乳児型嚥下と成熟型嚥下 正常咬合の条件・考え方 不正咬合の分類 個々の歯の異常 歯列弓形態異常 上下顎関係異常 Angle分類	①嚥下の発達と障害を説明できる。 ②正常咬合の概念を説明できる。 ③正常咬合の成立と保持条件を列挙する。 ④不正咬合による障害を列挙する。 ⑤Angle分類を説明できる。	教科書を事前に読み、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 A-2-4-6、A-2-4-8、D-5-5-1～3 必5ウa,b、必6イde、必7イe、総117ウa、総IV2ウ、各15ア～エ
63	口内③	舘原誠晃	総論 神経疾患	ア 神経疾患の概念 イ 神経疾患の症候 ウ 神経機能障害による症状 エ 神経疾患の検査	a 神経疾患の症候 b 感覚異常（味覚、体性感覚） c 感覚の検査	a 神経の解剖生理を復習すると共に神経疾患の症候を説明できる。 b 感覚異常（味覚、体性感覚）の原因、症状を説明できる。 c 感覚異常（知覚、味覚）に対する検査方法を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(5)-①～③ C-3-4)-(6)-④ E-1-3)-①,②,⑤ E-2-2)-⑩ E-2-4)-(9)-①～④ E-2-4)-(10)-⑤,⑪ 国試出題基準： 必-6-イ-o 必-7-イ-m 必-9-オ-g 総IV-2-ク 総VI-1-イ-h
64	口内④	舘原誠晃	各論 神経疾患	神経疾患の病態・診断・治療	a 三叉神経痛 b 三叉神経麻痺、三叉神経ニューロパチー c 顔面神経麻痺 d 舌咽神経痛 e 舌下神経麻痺 f 非歯原性歯痛 g 外傷性神経障害 ※神経障害性疼痛 h 帯状疱疹後神経痛 i 顔面けいれん j ジストニア k ジスキネジア	a-b 三叉神経痛、三叉神経麻痺、三叉神経ニューロパチーの病態、検査法、診断法、治療法を説明できる。 c 顔面神経麻痺の原因、病態、損傷部位による症状の違い、診断法、治療法を説明できる。 d 舌咽神経の生理機能と舌咽神経痛の病態、検査法、治療法を説明できる。 e 舌下神経の解剖生理と舌下神経麻痺を説明できる。 f 非歯原性歯痛を説明できる。 g 外傷性神経障害を説明できる。 h 帯状疱疹後神経痛を説明できる。 i-k 顔面けいれん、ジストニア、ジスキネジアを説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(5)-①～③ C-3-4)-(6)-④ E-1-3)-①,②,⑤ E-2-2)-⑨, ⑩ E-2-4)-(9)-①～④ E-2-4)-(10)-⑪ 国試出題基準： 各III-3-イ-a～k
65	SDL⑪	1～4限の講義担当者	主体的課題克服学習 (英語名：Self-directed Learning、略称SDL)			当日の講義内容を振り返り、主体的に理解不足や疑問点など課題を見出し、自己解決能力を修得する。	事前に講義で用いる教科書、配布資料等を参照し予習すること。また、主体的に解決した課題については要点をまとめて反復学習すること。

指導教員： 佐藤光一郎、江口貴紀
参考書： 「最新口腔外科学 第5版」 榎本昭二 道 健一 医歯薬出版
ISBN： 978-4-263-45806-8

指導教員： 舘原誠晃 上野繭美
参考書： 「最新口腔外科学」第5版 榎本昭二 医歯薬出版株式会社
ISBN： 978-4-263-45806-8
参考書： 「口腔内科学」第3版 山根源之 草間幹夫 永末書店
ISBN： 978-4-263-45806-8

指導教員： 大久保力廣
参考書： 無歯顎補綴治療学 第3版 市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編 医歯薬出版. 東京. 2016.
ISBN： 978-4-263-45792-4

指導教員： 後藤田宏也
参考書： 「口腔保健・予防歯科学」 医歯薬出版 第2版
ISBN： 978-4-263-45897-6
参考書： 「公衆衛生がみえる2022-2023」 医療情報科学研究所 編 メディックメディア 第6版
ISBN： 978-4-89632-858-5

指導教員： 朝田芳信 守安克也
参考書： 小児の口腔科学 第5版
ISBN： ISBN： ISBN： 978-4-7624-4646-7

指導教員： 阿部佳子
参考書： 歯科麻酔学 第8版第7刷 医歯薬出版株式会社
ISBN： 978-4-263-45829-7

指導教員： 山崎泰志
参考書： 1)歯内治療学 第6版 医歯薬出版 10,800円
ISBN： 978-4-263-45693-4
参考書： 2)エンドドンティクス 第7版 永末書店 9,900円
ISBN： 978-4-8160-1463-5

指導教員： 黒田 範行
参考書： 「入門組織学 改定第2版」 牛木達夫著 南江堂 5,500円（税込み）
ISBN： 978-4-524-21617-8

指導教員： 二藤 彰、中島和久、出野 尚
参考書： 解る!歯科薬理学 (第3版) 学建書院株式会社
ISBN： 978-4762426643
参考書： 現代歯科薬理学 第6版 医歯薬出版株式会社
ISBN： 978-4-263-45811-2

指導教員： 山本雄嗣
参考書： 「第六版 保存修復学21」 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 永末書店 2022年

指導教員： 大貫芳樹、本谷安正

参考書： 基礎歯科生理学 第7版

医歯薬出版

ISBN： 978-4-263-45846-4

参考書： スタディ生理学・口腔生理学 第3版

永末書店

ISBN： 978-4-8160-1338-6

指導教員： 長野孝俊

参考書： 臨床歯周病学 第3版

ISBN： 978-4-263-45844-0

指導教員： 櫻井敏継

参考書： 老年歯科医学

医歯薬出版

ISBN： 978-4-263-45789-4

参考書： よくわかる高齢者歯科学

永末書店

ISBN： 978-4-8160-1339-3

参考書： 摂食嚥下リハビリテーション第三版

医歯薬出版

ISBN： 978-4-263-44447-4

指導教員： 栗原大介

参考書： 要説スポーツ歯科医学第2版

上野俊明 他編

医学情報社

ISBN： 978-4-903553-79-5

参考書： スポーツ歯科臨床マニュアル第2版

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会編

医学情報社

ISBN： 978-4-903553-84-9

指導教員： 野本理恵

参考書： スタンダード歯科理工学（第7版）

学建書院

ISBN： 978-4-7624-5614-5

参考書： 基礎歯科理工学

医歯薬出版

ISBN： 978-4-263-45831-0

指導教員： 伊東宏和

参考書： 歯科放射線学第7版

ISBN： 978-4-263-45681-1

指導教員： 関谷利子

参考書： 歯科矯正学 第7版

ISBN： 978-4-263-45685-9